

## 平成27年度 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団事業報告

### <事業概要>

平成27年度は、公益財団法人の認定から4年目となり、これまでの経験を十分に活かしながら事業計画に基づき、各部門とも積極的に事業を推進し、地域住民の公益の増進に貢献しました。

夜間休日救急診療所部門においては、急病者の初期救急医療を主たる目的とし、宇都宮市の指定管理者として宇都宮市医師会、宇都宮市歯科医師会及び宇都宮市薬剤師会の協力のもとに管理運営をしており、年末年始やインフルエンザ流行期等については患者の状況に応じ、初期救急医療体制を適切に確保し、安全・安心な医療サービスの提供に努めるとともに、「救急医療の適正受診」等についての啓発活動を積極的に実施いたしました。平成27年度の患者数については、延べ36,741人、前年度比1,598人の減となりました。

健診センター部門においては、疾病の早期発見を図るための各種健康診断の実施など、地域住民の健康維持・増進に向け事業を推進してまいりました。事業所健診の受診件数は前年度比1,200件減となりました。住民健診においては市民が身近な会場で受診できる地区巡回健診と乳がん・子宮がん巡回健診が増加したため、住民健診全体で前年度比2,420件増となり、平成27年度の健康診断受診者の総件数については、前年度比1.8%増の延べ107,213件となりました。また、普及・啓発活動では、「世界糖尿病デー」にあわせ、健診センターの保健師と地元ラジオ局アナウンサーによる糖尿病等の生活習慣病予防に関するラジオ対談の放送を実施し、地域住民の疾病予防や健康に関する意識の向上を図ったほか、横断幕やラジオ・新聞等様々な媒体を活用して各種健診の受診率向上に努めるとともに、事業所健診の検査結果等を基に、受診者の生活改善に役立つ健康教室等を開催し、積極的に健康診断後のフォローに努めました。また、リスクマネジメントの推進や個人情報保護対策の徹底を図り、事故防止の意識を高めるとともに、個人情報の適正管理に努めました。

准看護高等専修学校及び歯科衛生士専門学校部門においては、地域保健医療への貢献が期待される有能な人材を育成するため、教育環境や教育内容などの充実を図るとともに、新年度の入学生を確保するため、進学相談会への参加や学校見学会等を実施しました。また、資格取得の支援及び就業支援に力を入れ、地域医療の担い手として准看護師及び歯科衛生士を地域の医療機関等へ輩出いたしました。

## 1 夜間休日救急診療所部門

当診療所は、急病患者の応急処置を主たる目的として、夜間や休日等の初期救急医療を確保するため、当事業団が宇都宮市の指定管理者として宇都宮市医師会、宇都宮市歯科医師会及び宇都宮市薬剤師会の協力のもと管理運営しております。診療は、毎夜間と日曜祝日の昼間に実施し、特に患者が増加するゴールデンウィーク、旧盆、シルバーウィーク、年末年始の繁忙期やインフルエンザの流行期などについては、前年度までの患者実績に合わせてスタッフを増員配置しました。

平成27年度の診療所実施状況については、昼間診療を74日、夜間診療（準夜・深夜）を366日実施し、総患者数は前年度比1,598人、4.2%減の延べ36,741人となりました。

### (1) 実施状況

#### ア 診療日、診療時間、開設日数

区分	診療科	診療日	診療時間	開設日数
昼間	医科 歯科	日曜、祝日、国民の休日	午前9時～午後5時	74日
		旧盆(8/13, 14, 15)		
		年末年始(12/30～1/3)		
夜間	医科	毎日	午後7時30分～翌朝午前7時	366日
	歯科	毎日	午後7時30分～午前0時	

#### イ スタッフ動員数

(単位:人)

区分	医師	歯科 医師	薬剤師	看護師	衛生士	事務員	合計	前年度比較	
								動員数	増減
昼間	246	91	177	357	107	328	1,306	1,268	38
準夜	826	384	472	1,236	401	892	4,211	4,174	37
深夜	732	—	366	732	—	366	2,196	2,190	6
合計	1,804	475	1,015	2,325	508	1,586	7,713	7,632	81
前年度	1,796	468	1,004	2,298	497	1,569	7,632		
増減	8	7	11	27	11	17	81		

ウ 医科患者利用状況

医科における患者数については、年度当初から落ち着いた受診傾向で推移し、総患者数は前年度比1,761人、5.0%減の33,213人となりました。

毎年多くの罹患者が出るインフルエンザは、1月後半から流行期に入り、2月にピークを迎え、3月までに前年度比1,683人、40.3%減の2,493人となりました。

①医科月別受診者数

(単位：人)

区分	27年												合計	前年度比較		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		日数	増減	
	28年															
昼間	日数	5	8	4	5	8	7	5	7	7	8	5	5	74	74	0
	患者数	531	1,270	356	686	919	1,019	561	782	1,029	1,592	1,443	986	11,174	12,255	△1,081
	1日平均	106.2	158.8	89.0	137.2	114.9	145.6	112.2	111.7	147.0	199.0	288.6	197.2	151.0	165.6	△14.6
夜間	日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366	365	1
	患者数	1,150	1,364	1,017	1,385	1,296	1,284	1,100	1,092	1,291	1,584	1,893	1,584	16,040	16,388	△348
	1日平均	38.3	44.0	33.9	44.7	41.8	42.8	35.5	36.4	41.6	51.1	65.3	51.1	43.8	44.9	△1.1
深夜	患者数	442	511	445	522	485	519	495	478	501	530	554	517	5,999	6,331	△332
	1日平均	14.7	16.5	14.8	16.8	15.6	17.3	16.0	15.9	16.2	17.1	19.1	16.7	16.4	17.3	△0.9
	合計	2,123	3,145	1,818	2,593	2,700	2,822	2,156	2,352	2,821	3,706	3,890	3,087	33,213	34,974	△1,761
前年度	2,263	3,012	1,928	2,433	2,781	2,241	1,834	2,677	4,864	5,944	2,516	2,481	34,974			
増減	△140	133	△110	160	△81	581	322	△325	△2,043	△2,238	1,374	606	△1,761			

②医科患者転送状況

(単位：人)

区分	帰宅	転送	合計
患者数	32,421	792	33,213
構成比	97.6%	2.4%	100%
前年度	34,201	773	34,974
増減	△1,780	19	△1,761

③転送機関別内訳

(単位：人)

区分	後方2次病院					後方1.5次病院						獨協	自治	その他	合計
	済生会	NHO栃	JCHO	宇記念	NHO宇	済生会	宇記念	柴	宇東	宇第一	高橋				
転送数	407	119	77	82	8	10	10	0	4	7	0	34	10	24	792
構成比	51.4%	15.0%	9.7%	10.3%	1.0%	1.3%	1.3%	0.0%	0.5%	0.9%	0.0%	4.3%	1.3%	3.0%	100%
前年度	416	102	58	96	15	6	5	0	2	0	1	23	15	34	773
増減	△9	17	19	△14	△7	4	5	0	2	7	△1	11	△5	△10	19

エ 歯科患者利用状況

歯科においては、9月シルバーウィークの受診増を除いては、概ね例年に準じた患者数の推移に終始し、前年度比163人、4.8%増の3,528人となりました。

①歯科月別受診者数

(単位：人)

区分	27年												合計	前年度比較		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		日数	比較増減	
昼間	日数	5	8	4	5	8	7	5	7	7	8	5	5	74	74	0
	患者数	64	156	44	68	127	139	72	77	179	182	59	58	1,225	1,072	153
	1日平均	12.8	19.5	11.0	13.6	15.9	19.9	14.4	11.0	25.6	22.8	11.8	11.6	16.6	14.5	2.1
夜間	日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366	365	1
	患者数	196	227	157	178	195	191	178	166	260	210	153	192	2,303	2,293	10
	1日平均	6.5	7.3	5.2	5.7	6.3	6.4	5.7	5.5	8.4	6.8	5.3	6.2	6.3	6.3	0
合計	260	383	201	246	322	330	250	243	439	392	212	250	3,528	3,365	163	
前年度	217	343	203	251	351	251	241	264	399	376	211	258	3,365			
増減	43	40	△2	△5	△29	79	9	△21	40	16	1	△8	163			

②歯科患者転送状況 (単位：人)

③転送機関別内訳 (単位：人)

区分	帰宅	転送	合計
患者数	3,497	31	3,528
構成比	99.1%	0.9%	100%
前年度	3,337	28	3,365
増減	160	3	163

区分	NHO栃木	獨協	自治	その他	合計
転送数	7	22	2	0	31
構成比	22.6%	71.0%	6.4%	0.0%	100%
前年度	6	17	5	0	28
増減	1	5	△3	0	3

(2) 診療体制

地域住民の要望にそった初期救急としての診療体制を充実するため、関係医療機関との連携を図るとともに必要な人員の確保に努めました。

ア 医師の安定確保を目指し、派遣協力医療機関との連携を強化しました。

イ 後方病院並びに後方支援病院を始め協力医療機関との連携を深め、円滑な患者の転送に取り組みました。

ウ 患者の受入実績及び繁忙状況等を踏まえた上でスタッフの充実を図りました。特にゴールデンウィーク、旧盆、シルバーウィーク及び年末年始の繁忙期や、インフルエンザ流行期における患者増に対して、医師、歯科医師、薬剤師等スタッフを増員し、円滑な診療を行うための診療体制の強化に努めました。

エ 医療サービス向上のため、年4回(4月、7月、12月、3月)看護師、歯科衛生士、事務員を対象に繁忙期の診療体制の確認、緊急時の対応、医療機器の取扱等の研修を実施しました。

また、薬剤師を対象とした研修も実施し、円滑な薬局業務のための課題検討や情報の共有化を進めました。

### (3) 普及・啓発活動

地域住民に対し救急医療の理解と健康に対する知識の普及を図るため、以下の取り組みを実施しました。

#### ア 親子学級などにおける啓発活動

妊婦やその夫を対象に市保健センターで開催される「ママパパ学級」において、救急医療の適正受診についてのチラシの配付や、口頭による夜間休日救急診療所の適切な利用の仕方について案内を行いました。

#### イ メディアを通じた啓発活動

ゴールデンウィーク、旧盆、年末年始における夜間休日救急診療所の受診の仕方や季節の節目における健康に関するワンポイントアドバイスをラジオで放送しました。

また、新聞折り込みにおいても、健康維持に関する啓発記事を、年2回(7月,11月)掲載しました。

#### ウ 公共機関等で啓発資料を配布

子どもを持つ保護者を対象に、夜間休日救急診療所の受診の仕方や症状に応じた対処法のチラシを4ヶ月児健診時(市保健師訪問指導)や子育てサロンに配付しました。

## 2 健診センター部門

公益財団法人として、引き続き地域住民の健康維持・増進のため普及啓発活動などの公益を目的とした各種事業を積極的に推進しました。

健診事業については、事業所健診が減少となりましたが、住民健診が前年度を大きく上回り、健診事業全体で前年度比1,939件、1.8%増の107,213件を実施しました。

健康支援事業では特定保健指導や乳がん検診後の自己視触診指導を実施したほか、健康教室などを積極的に実施したことにより、健康支援事業全体で前年度比249件、7.7%増の3,468件を実施しました。

また、リスクマネジメントを組織的に推進するなど、精度管理や安全管理を徹底し、市民が安心して受診できる健診環境の向上に努めました。

### (1) 実施状況

健診受診件数

(単位：件)

健康診断種別	平成27年度		平成26年度		増減		
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	増減	増減率(%)	
ア 事業所健診	定期健康診断	22,366	20.9	22,682	21.6	△ 316	△ 1.4
	生活習慣病予防健診	11,277	10.5	11,385	10.8	△ 108	△ 0.9
	人間ドック	1,559	1.4	1,512	1.4	47	3.1
	特殊健康診断	3,307	3.1	3,103	2.9	204	6.6
	結核検診	4,375	4.1	4,912	4.7	△ 537	△ 10.9
	その他の健診	1,702	1.6	2,192	2.1	△ 490	△ 22.4
	小計	44,586	41.6	45,786	43.5	△ 1,200	△ 2.6
イ 住民健診	節目健診	3,051	2.8	3,110	3.0	△ 59	△ 1.9
	地区健診	8,368	7.8	8,452	8.0	△ 84	△ 1.0
	地区巡回健診	8,263	7.7	6,923	6.6	1,340	19.4
	乳がん巡回健診	5,167	4.8	4,125	3.9	1,042	25.3
	子宮がん巡回健診	4,996	4.7	4,216	4.0	780	18.5
	特定健康診査単独	120	0.1	156	0.1	△ 36	△ 23.1
	結核検診	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	個別マンモグラフィ検診	2,120	2.0	2,683	2.6	△ 563	△ 21.0
	小計	32,085	29.9	29,665	28.2	2,420	8.2
ウ 子ども健診	心臓検診	14,374	13.4	14,481	13.8	△ 107	△ 0.7
	結核検診	4,782	4.5	5,188	4.9	△ 406	△ 7.8
	その他の健診	11,386	10.6	10,154	9.6	1,232	12.1
	小計	30,542	28.5	29,823	28.3	719	2.4
合計	107,213	100.0	105,274	100.0	1,939	1.8	

エ 健康支援事業健診受診件数

(単位:件)

保健指導区分	平成27年度		平成26年度		増 減	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	増 減	増減率(%)
特定保健指導	264	7.6	222	6.9	42	18.9
その他の事後支援事業	3,204	92.4	2,997	93.1	207	6.9
合 計	3,468	100.0	3,219	100.0	249	7.7

ア 事業所健診

事業所健診は、巡回健診対象顧客のうち新たに獲得した事業所より他の健診機関に移行した事業所が4件多かったことから減少となりましたが、事業団施設において実施している人間ドックについては顧客サービスの向上に努め、ほぼ前年度並を確保し、事業所健診全体では、前年度比1,200件、2.6%減の44,586件を実施しました。

イ 住民健診

住民健診は、市民が身近な健診会場で受診できる地区巡回健診と、乳がん・子宮がん巡回健診が前年度に引続き受診者増となりました。

また、早朝健診・出前健診・協会けんぽとのタイアップ健診等を前年度に引き続き実施し、市と連携して市民のニーズに対応するなど、住民健診全体では前年度比2,420件、8.2%増の32,085件を実施しました。

ウ 子ども健診

子ども健診のうち、市内小学校1年生、4年生及び中学校1年生の児童・生徒を対象とした学校心臓検診は、ほぼ前年度並の14,374件の実施となりました。

また、結核検診は、対象学校の児童・生徒・学生数が減少したため実施件数も減少しました。

一方、幼稚園・保育園児を対象とした尿検査や寄生虫卵検査等のその他の健診は、顧客の幼稚園・保育園の一部が「認定こども園」に組織変更したことに伴い、年1回義務付けられた尿検査が年2回になったことから、依頼件数が前年度を上回り、子ども健診全体では、前年度比719件増の30,542件の実施となりました。

エ 健康支援事業

特定保健指導は、事業開始以来、対象者の関心が薄く希望者も少ない傾向が続いていましたが、健康教室や事業団のホームページ等でPRを行ったことにより、今年度は前年度比42件増の264件の実施となりました。

その他、事後支援事業等を実施して、健康支援事業全体では、前年度比249件増の3,468件の実施となりました。

(2) 地域の健康づくりに関する情報収集・情報発信

平成26年度の宇都宮市国民健康保険組合員及びその被扶養者に対する特定健康診査の健診結果のうち、メタボリックシンドローム判定、特定保健指導レベル判定、検査項目別判定及び血液検査判定について分析し、その結果を宇都宮市に提供しました。

(3) 普及・啓発活動

ア 健康教育及び健康指導

- ① 保健師や管理栄養士が宇都宮市内の事業所や公民館等に出向いて、要望に応じたテーマで講義や指導を行い、市民の健康意識向上に努めました。

実施日	出向先
4月16日・17日	(株)下野新聞社
5月16日	小平興業(株)
5月29日	一般社団法人宇都宮労働基準協会
7月14日	グリーンタウン自治会
7月16日	ゆいの杜野高谷自治会
7月21日	上原団地老人クラブ
8月6日	西組健康クラブ
8月12日	双葉2丁目自治会
8月19日	ひまわりサロンクラブ
8月30日	滝の原福寿会
9月2日	西の宮自治会
9月15日	昭寿会
10月3日	恵産業(株)
12月26日	日本サーファクタント工業(株)

- ② 市内小中学校児童・生徒を対象に実施した平成27年度心臓検診の結果データを基に統計資料を作成し、平成27年9月に市内小中学校養護教員宛報告をいたしました。

イ 各種健診の受診率向上への取り組み

- ① 下記の病気の予防月間等において横断幕やボード等を事業団建物や検診車両に掲示し、広く市民へ周知しました。また、その他の月においては「健診受診勧奨」のボードを検診車両に掲示し、健診の受診率アップに努めました。

掲示期間	内容
5月	世界禁煙デー
9月	がん征圧月間
10月	乳がんピンクリボン運動月間
11月	糖尿病予防月間
1月	高血圧予防
2月	生活習慣病予防月間

- ② 平成27年9月19日、20日、壬生町総合公園を会場に開催された、日本対がん協会主催のがん患者支援チャリティーイベント「リレーフォーライフ」に参加し、職員が横断幕を掲げ行進し、がん検診の重要性についてPRし、検診の受診勧奨を行いました。

- ③ 平成27年10月4日、市が主催する「食育フェア」に参加し、保健師と管理栄養士が「野菜」に関するテーマで、野菜嫌いな方のために上手な野菜の摂り方などを指導するほか、来場者と一緒にキーホルダーの作成体験を行うなど、市民の健康意識の向上を図るとともに健診の受診率アップに努めました。



④ 平成 27 年 11 月 28 日、市が主催する「人づくりフォーラム」に参加し、子どもたちを対象とした健診スタッフの職業体験を実施するとともに、健康診断受診勧奨のチラシを配布して健診受診率向上を図りました。

ウ ラジオ対談の実施

平成 27 年 11 月 14 日、保健師と C R T 栃木放送アナウンサーによるラジオ対談の放送を実施しました。内容は放送日の「世界糖尿病デー」にあわせて、「糖尿病予防」に関するものとし、地域住民の疾病予防や健康に関する意識の向上を図りました。

エ 健康冊子の配布及びホームページでの掲載

保健師が健康に関するテーマでリーフレットを作成し、市内の事業所等に配布するとともに、事業団ホームページに掲載して広く市民に健康情報を提供しました。

※ テーマ:「食事で健康的にダイエット」(お酒)、「食事で健康的にダイエット」(間食)、「食事で健康的にダイエット」(適切な食事量)、「ストレスチェック」,「健診・特定保健指導受診勧奨」,「熱中症予防」,「秋バテ」

オ メディアを通じた普及啓発活動

地域住民が健康について考えるきっかけとなるよう、各種疾病や健康に関する予防月間等の際にその意義や予防について栃木放送と下野新聞を通じて広く市民に周知しました。

実施月	内 容	
	栃木放送	下野新聞
4 月	健康診断受診勧奨	
5 月	禁煙	禁煙
6 月	熱中症予防	
7 月	飲酒	
8 月	食中毒	
9 月	がん征圧	がん征圧
10 月	乳がん検診受診勧奨	乳がん検診受診勧奨
11 月	糖尿病予防	糖尿病予防
12 月	インフルエンザ	
1 月	高血圧	
2 月	生活習慣病予防	生活習慣病予防
3 月	女性の健康づくり	女性の健康づくり

(4) 精度管理

ア 健診スタッフの技術の向上

全国労働衛生団体連合会や人間ドック学会等が主催する各種の学会、研修会に保健師、看護師、検査技師、X線技師等の職員を参加させ、資質技術の向上に努めました。

イ 内部精度管理の充実

日常的に使用する各種検査機器が確実に稼動し、正確なデータを確保できるよう日々の始業点検や保守点検を徹底するとともに、再現性の検証等を定期的の実施しました。

ウ 外部精度管理への参加

全国労働衛生団体連合会が主催するX線検査、血液検体検査、労働衛生検査及びマ

ンモグラフィ精度管理中央委員会が主催するマンモグラフィ検査の外部精度管理事業に参加し、各種検査の精度向上に努めました。

(5) 安全管理

ア リスクマネジメントの推進

健診業務におけるヒヤリハット事例の原因分析、防止対策等を組織的に検討し、その結果を職員及びスタッフへ周知し、事故防止への意識昂揚を図り、安心・安全な健診の実施に努めました。

イ 個人情報保護対策の強化

重要な個人情報を取り扱う健診機関として、健診受診票等帳票類や検査データ等の個人情報文書類を安全かつ適切に管理するため、情報処理室への入退室管理の徹底を図るなど、個人情報の適正管理に努めました。

(6) 第三者認証の継続

平成26年度に更新した全国労働衛生団体連合会が主催する「労働衛生サービス機能評価」の認証を継続するため、年度末に自主監査を行い、サービス機能が適切に実施・維持されているか自ら評価することにより、公益財団法人の健診機関としての信頼性の確保を図りました。

(7) ストレスチェック実施に向けての準備

労働安全衛生法の改正により、労働者50人以上の事業場に義務付けられたストレスチェック制度に対応するため、平成28年度から実施が可能となるよう準備を進めた結果、実施に向けての準備が完了しました。

(8) 肺がん・胃がん二重読影会におけるモニター読影の実施

肺がん及び胃がん二重読影会において、3台整備したデジタルモニターにより、同検診実施医療機関のデジタル化に対応することができ、市医師会と事業団が一体となって市民の健康維持・増進に貢献することができました。

### 3 准看護高等専修学校部門

准看護師として地域の保健医療を担う有能な人材を育成するために、教育環境の充実や教員の教育研修会参加による教育力の強化に努めるとともに、講師及び実習指導者との連携を図り、指導の充実に努めました。また、生徒の確保については、公的機関等の訪問による、担当者への情報提供を積極的に行いました。

#### (1) 教育実施状況

学 年	生 徒 数 27年4月  (人)	教育科目（座学講義）					臨地実習		教育実施 時間合計  (時間)
		基 礎 科 目	専 門 基 礎 科 目	専 門 科 目	合 計	講 師 数	実 習 時 間	実 習 施 設  (機関)	
		国 語 外 国 語 音 楽 そ の 他	人体の仕組み と働き 食生活と栄養 薬物と看護 そ の 他	基 礎 看 護 成 人 看 護 老 年 看 護 母 子 看 護 精 神 看 護					
1 年 生	36	105	309	367	781	46	210	15	991
2 年 生	35	10	112	262	384		525		909
合 計	71	115	421	629	1,165	46	735	15	1,900

#### (2) 生徒確保対策の強化

ア 入学案内のため、県内在校生及び卒業生出身校（県立高2校、私立3校）を訪問しました。

イ 県北・県央のハローワーク（4ヶ所）、市町のひとり親家庭に対する自立支援の担当課（6ヶ所）を訪問し、情報提供を行いました。

ウ 学校見学会を年3回実施しました（現役高校生を主な対象として平日1回、社会人を主な対象として休日2回）。

エ 広報活動の充実を図るため、下記の取り組みを実施しました。

- ・ 携帯アクセスサイト「ベスト進学ネット」への掲載（資料請求166件）
- ・ ホームページへの掲示
- ・ 宇都宮市広報紙掲載2回（11月号・2月号）
- ・ 平成28年度募集要項作成，医療機関・市内福祉施設・県内高等学校への送付
- ・ フリーペーパー「トチペ」への募集広告掲載（10月・1月）
- ・ 進学情報誌「さんぼう」，「照栄広報」，「教育弘報研究所」出版へのアンケート協力により学校案内の掲載
- ・ 入学案内のポスター，パンフレットを作成，市内医療機関への掲示依頼（約400

ヶ所)

- ・ 自動車教習所等若者の集まる場所へのポスター掲示依頼（2ヶ所）

オ 高校生、社会人を対象とした推薦入学試験を実施し、7名（高校生4名、社会人3名）が受験し、7名が合格となりました。

(3) 教育環境の充実

ア モノクロのコピー機からカラーコピー機への更新や老朽化した印刷機の更新を行い、授業資料の充実及び準備の効率化を図りました。

(4) 教育内容の充実

ア 専任教員の資質の向上のため、下記の研修会等に参加しました。

- ・ 出版社主催看護教員対象セミナー（1名）
- ・ 栃木県看護系教員協議会研修会（延べ17回）
- ・ 栃木県看護協地区研修会（「スキンケア」1名）

イ 講師及び実習指導者との円滑な連携の推進を図るため、教員の实習引率や各基礎実習施設巡回及び反省会への出席とともに、実習指導者会議を開催し、指導者と実習内容等について協議を行いました（参加人数46名）。

(5) 実践活動の充実

ア 1年生の解剖見学、2年生の研修旅行等の校外研修を実施しました。

イ とちぎ海浜自然の家において、1・2年生の合同宿泊研修を実施しました。

ウ 栃木県が卒業後の就業のイメージを持たせる目的で主催する「就職ガイダンス」を学校内で実施し、1年生が参加しました。

エ 栃木県のカウンセラー派遣事業により、カウンセリングルームを30回（1回あたり3時間）開設しました。

(6) 地域医療機関への就業支援

ア 准看護師募集機関と生徒の希望・特性とのマッチング等を図るための相談及び指導を行い、地域医療への就業支援に努めました。

イ 就業希望者23名のうち22名が県内の医療機関・高齢者福祉施設に就職しました。

(7) 1年生の状況

	人数	備考
生徒数	36	入学者 35名（受験者数 50名） 復学者 1名
進路変更等	7	退学者 6名 休学者 1名
進級者	29	

## (8) 2年生の状況

	人数	備考
卒業生	34	
うち准看護師試験合格者	34	合格率 100%
卒業生の進路		
看護師学校進学者	11	進学率 32.4%
看護師学校進学兼就職者	4	進学兼就職率 11.8%
医療機関就職者	18	就職率 52.9%
進学準備等	1	2.9%
合計	34	

## (9) 平成28年度生の募集状況

試験科目…………… 国語, 一般教養, 作文, 適性検査, 面接

	試験日	受験者数	合格者数 (入学者数)	競争率
推薦入試	平成27年10月25日 (一般教養・面接)	7	7(7)	/
一般入試(第1回)	平成27年11月25日 (学科・面接)	32	23(20)	
一般入試(第2回)	平成28年 2月16日 (学科・面接)	20	15(13)	
合計		59	45(40)	1.31

※ 平成28年度入学生 40名

#### 4 歯科衛生士専門学校部門

歯科衛生士として時代の要請に応える知識や技術を修得させ、口腔衛生の向上に資する有能な人材を養成するため、講師及び臨床実習指導教員との連携強化を図り指導の強化に努めるとともに、教育器材及び学校図書を整備を行うなど、教育環境の充実を図りました。

また、3年制教育移行後の授業計画に基づく講義を継続するとともに、大学病院・介護施設での実習を実施いたしました。

3年生については、地域医療機関への就業支援を行い、歯科衛生士としての進路が決定できるよう支援しました。

学生の確保については、市内医療機関の他、県内の医療機関等に募集案内のポスター掲示を依頼するなど、広報活動の強化に努めました。

##### (1) 教育実施状況

学年	人数 27年4月  (人)	教育科目（座学講義）					
		基礎分野	専門基礎分野	専門分野	選択・必修分野	合計 (時間)	講師数 (人)
		英語 生物 心理学 その他 (時間)	解剖学 組織発生学 生理学 生化学 歯牙解剖学 病理学 薬理学 その他 (時間)	歯科衛生士概論 歯科臨床概論 保存修復歯内療法 歯科補綴学 歯周保存療法 口腔外科学 その他 (時間)	情報処理 社会人マナー 耳鼻科 内科 小児科 (時間)		
1年生	44	60	285	525	0	870	29
2年生	47	45	15	45	45	150	10
3年生	50	45	75	284	90	494	14
合計	141	150	375	854	135	1,514	53

臨床実習		施設臨床実習 介護施設実習		教育 実施 時間 合計 (時間)
実習 時間 (時間)	実習 施設 (機関)	実習 時間 (時間)	実習 施設 (機関)	
—	—	—	—	870
720	39	—	—	870
270		36	5	800
990	39	36	5	2,540

(2) 学生確保対策の強化

- ア オープンキャンパスを年4回（平日2回，休日2回）実施しました。
- イ 広報活動の充実を図るため，下記の取り組みを実施しました。
  - ・ 宇都宮市広報紙掲載2回（10月，12月）
  - ・ インターネットによる学生募集の広報
  - ・ 宇都宮市内の全中学校にポスターを送付
  - ・ 県内の歯科医院等への学生募集ポスターの掲示
  - ・ 実習施設等への学生募集ポスターの掲示
- ウ 栄美通信主催進学相談会のほか，栃木県内の学校等で開催される進学相談会に参加しました。
- エ 入学案内のため，推薦指定校（34校）を訪問しました。

(3) 教育環境の充実

- ア 教室Ⅰの床張り替え及び実習用歯科診療ユニット（5台）の更新など教育用機材の充実を図りました。

(4) 教育内容の充実

- ア 専任教員の資質の向上のため，下記の研修会等に参加しました。
  - ・ 歯科衛生士専任教員研修会Ⅱへの参加（5日間，1名）
- イ 講師及び指導教員との円滑な連携の推進を図るため，講師指導教員打合会を開催し，指導教員と実習内容について協議を行いました（参加人数100名）。

(5) 実践活動の充実

- ア フッ化物塗布事業や歯の健康教室への参加を行いました。
- イ 通常の講義に加え，「病院実習における心構え」「シャープニング」「音波ブラシの使い方」「病院歯科における歯科衛生士の役割」等の特別講義を実施しました。

(6) 地域医療機関への就業支援

- ・ 歯科衛生士の資格を習得させ，地域の医療機関等へ就業させることにより地域医療従事者の提供体制の充実に務めました。
- ・ 11月より就業支援を行い，希望者50名全員が就職しました。

(7) 1年生（第38期生）の状況

	人数	備 考
学生数	44	入学者 44名（受験者数 51名）
進路変更等	2	退学者 2名
進級者	42	

## (8) 2年生(第37期生)の状況

	人数	備 考
学生数	47	
進路変更等	2	休学者 2名
進級者	45	

## (9) 3年生(第36期生)の状況

	人数	備 考
卒業生	50	
うち歯科衛生士国家試験合格者	47	合格率 94.0%
卒業生の進路		
医療機関就職者(歯科衛生士)	47	就職希望者 50名(就職率 100.0%)
医療機関就職者(歯科助手)	3	
その他	0	
合 計	50	

## (10) 平成28年度入学生の募集状況

試験科目…………… 国語総合, 適性検査, 面接

試験区分	試 験 日	受験者数	合格者数 (入学者数)	競争率
A O 入 試	平成27年 9月27日	18	18 (18)	
推 薦・特別入学	平成27年10月22日	22	22 (21)	
一 般 入 学	平成28年 1月14日	9	9 (4)	
一般入学(2次)	平成28年 2月14日	0	0 (0)	
一般入学(3次)	平成28年 3月20日	2	2 (2)	
合 計		51	51 (45)	1.00

※ 入学定員 50名

※ 平成28年度入学生 45名

※ A O入試(アドミッションズ・オフィスの略)

論文や面接から志願者の意欲や個性などを測り、学校が求める学生像に合った入学生を選抜する。